

た人がどうして髮結に壹圓五拾錢支拂ふのを惜しいとは思はないでせう、自動車に乗るのを電車にして其切符を買ふ事に氣がつかないでせう、當の本人は少しもそれを不思議とも思はなければ恥かしいとも勿論思はない、後で伺へばこの婦人は高等の教育を受けた人でしかも頭腦の明晰だつた人であるのに、結婚後いつの間にか頭が悪くなり神經が鈍つてしまつたのである、惡氣があるのではない全く氣がつかない程に神經が鈍つてしまつたといふのはさてもさても誰の罪でせうか、家庭も社會も其責任の幾分を負はねばならぬのではありますまいか、たゞ其人一人を責めることは出来ないと思ふ。

長い日も黄昏近い氷川下の邊にはミソコシを前掛の下にいられて忙はしそくに走つて居るおかみさんの姿を多く認めれた、無量のお土産をいたゞいたのでどこをどう歸つたか記憶して居らない母さんずい分おそいのねと出迎へる子供等の手をこつて我にかへつた。

○北海道の幼稚園

- 公立茶津尋常小學校附屬幼稚園
- ローズ幼稚園
- 私立小樽幼稚園
- 私立函館幼稚園
- 遺愛幼稚園
- 私立根室佛教幼稚園
- 私立札幌基督組合教會幼稚園
- 私立札幌若葉幼稚園
- 私立釧路幼稚園
- 私立精華女學校附屬幼稚園
- 私立俱知安幼稚園
- 室蘭區母戀茶津
- 小樽區富岡町一ノ一六
- 小樽住江町一ノ二二
- 函館區榮町二二三
- 函館區元町五三
- 根室區根室町彌榮町二ノ六
- 札幌區大通西一ノ一四
- 札幌區北二條西二丁目
- 釧路區米町一三四
- 旭川區四條通十一丁目
- 虻田郡知安町南一線四五